



歴史的な前千年王国説と ユダヤ人伝道の神学的な位置づけ

日本福音主義神学会
西部部会春期研究会議
関西聖書学院：組織神学講師
安黒 務



『ローマの信徒への手紙』

ジョン・マーレイ著、松田一男訳

1. 緒論
 1. 9－11章の目的
 2. 内容の要約
2. 本文と解説と注
 1. 第9章
 1. イスラエルの不信仰
 2. 神の真実と義の弁明
 2. 第10章
 - 信仰による義
 3. 第11章
 - イスラエルの回復
 1. 残された者と他の者
 2. イスラエル全体の救い★
 3. 異邦人全体の救いとイスラエルの救い★
 4. 頌栄

『新約聖書神学』

ジョージ・E・ラッド著

■ 第四部:パウロ

■ 37章 教会

1. 様式
2. カリスマタ
3. エクレシア
4. 神の民
5. イスラエル★
6. 神の宮
7. 終末論的民
8. 聖霊交わり
9. 聖徒
10. 信者
11. キリストのからだ
12. ユーカリスト
13. 洗礼

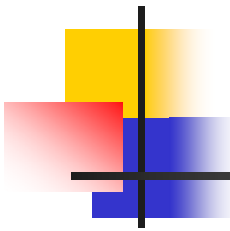
■ 38章 終末論

1. 導入
2. 中間状態
3. 死者の眠り
4. キリストの再臨★
5. 神の国
6. 無法の神秘
7. イスラエルがかたくなにされることと最後の救い★
8. 復活と携挙
9. 審判
10. 完成

『ヨハネの黙示録講解』

ジョージ・E・ラッド著

1. 序と最初の幻
2. 七つの教会への手紙
3. 七つの教会への手紙(続)
4. 天にある御座
5. 封印された書物
6. 六つの封印
7. 二つの大群衆
8. 七つの封印と六つのラツパ
9. 六つのラツパ(続)
10. 天使と小さな書物
11. 宮のはかりと二人の証人
12. 竜と女と彼女の子孫
13. 二匹の獣
14. 保証についての幻
15. 鉢の準備
16. 七つの鉢
17. バビロンの神秘
18. バビロンの審判
19. キリストの再臨
20. メシヤの大勝利
21. 完成
22. むすび



『祝福された望み』 —キリストの来臨と携挙についての聖書の学び— ジョージ・E・ラッド著

- 導入
- 1. 教会の歴史的希望
- 2. 大患難前再臨説の起源と広がり
- 3. 「祝福された望み」の語彙
- 4. 大患難、携挙、復活
- 5. 有効な推論
- 6. 目を覚ましていなさい！
- 7. 怒り、それとも患難？
- 8. 正しく言葉を分類する
- 9. 祝福された望み
- 10. 結論



『千年王国の意味』—四つの見方

編集：ロバート・G・クラウス

- 第一章 歴史的な前千年王国説(G.E.ラッド)
 - 序
 - 1. 解釈における問いかけ
 - 2. 千年王国説の脈絡
 - 3. 千年王国説
- ディスペンセーション主義的な前千年王国説の立場からのレスポンス(H.A.ホイット)
- 後千年王国説の立場からのレスポンス(L.ボエトナー)
- 無千年王国説の立場からのレスポンス(A.A.フーケマ)



『最後の事物』

ジョージ・E・ラッド著

1. 預言的聖書箇所をどのように解釈するか？
2. イスラエルについて、どうか？ ★
3. 中間状態
4. キリストの再臨
5. 再臨についての言葉
6. 反キリストと大患難
7. 復活と携挙
8. 審判
9. 神の国



『神の国の福音』

ジョージ・E・ラッド著

1. 神の国とは何か
2. 神の国の未来性
3. 神の国の現在性
4. 神の国の奥義
5. 神の国の生命
6. 神の国の義
7. 神の国の要求
8. 神の国、イスラエル、教会★
9. 神の国はいつ来るか

『終末論における今日的選択肢』

—千年王国についての研究—

ミラード・J・エリクソン

1. 第一部 背景
 1. シュバイツァーとドット
 2. ブルトマンとモルトマン
2. 第二部 千年王国についての見方
 1. 後千年王国説
 2. 無千年王国説
 3. 前千年王国説
3. 第三部 大患難についての見方
 1. ディスペンセーション主義
 2. 大患難前再臨説
 3. 大患難後再臨説
 4. 中間的立場
- 結論



『基督教教理入門』

ミラード・J・エリクソン著

1. 38章 導入的事柄と個人終末論
 1. 終末論への導入
 2. 死
 3. 中間状態
 4. 意味合い
2. 39章 再臨とその結果
 1. 再臨
 2. 復活
 3. 最後の審判
 4. 再臨とその結果の意味合い
3. 40章 千年王国と大患難の見方
 1. 千年王国についての見方
 1. 後千年王国説
 2. 前千年王国説
 3. 無千年王国説
 4. その問題の解決
 2. 大患難についての見方
 1. 大患難前再臨説
 2. 大患難後再臨説
 3. 中間的立場
 4. その問題の解決
4. 41章 最後の状態
 1. 義なる者の最後の状態
 2. 悪しき者の最後の状態
 3. 最後の状態の教理の意味



『キリスト教神学』

ミラード・J・エリクソン著

1. 56章 終末論への導入
 1. 終末論の位置づけ
 2. 終末論の分類
 3. 終末論の現代の取り扱い
 1. リベラルなアプローチ
 2. A.シュバイツァー
 3. C.H.ドット
 4. R.ブルトマン
 5. J.モルトマン
 6. ディスペンセーション主義
 4. 終末論に関する結論
2. 57章 個人終末論
 1. 死
 2. 中間状態
 3. 示唆されている結論
3. 58章 再臨とその結果
 1. 再臨
 2. 復活
 3. 最後の審判
 4. 再臨とその結果における意味
4. 59章 千年王国と大患難についての見方
 1. 千年王国についての見方
 2. 大患難についての見方
5. 60章 最後の状態
 1. 正しい者の最後の状態
 2. 悪しき者の最後の状態
 3. 最後の状態の教理の意味

『キリスト教神学における読み物』

ミラード・J・エリクソン編集

- 第37章 千年王国と大患難
- 1. キリスト教的希望と千年王国 (L.ポエトナー)
 - 1. 福音主義的一致
 - 2. 字義的と霊的
 - 3. 世界はよりよくなるだろう
 - 4. 聖書は何を語っているか
 - 5. 確かな勝利
- 2. キリスト教的希望と千年王国 (W.J.グリヤー)
 - 1. 見方の変化
 - 2. 旧約聖書の預言
 - 3. 一千年
 - 4. 新しい天と新しい地
- 3. キリストの栄光の啓示 (G.E.ラッド)
 - 1. 二つの時代
 - 2. 難しさを直視する
 - 3. 神学的必然性
 - 4. 来るべき世
- 4. ディスペンセーション主義の
前千年王国説
 - 1. 定義
 - 2. 主なディスペンセーション
 - 3. 地上における統治
 - 4. 他の保守主義者との一致



『パウロの終末論』 ゲルハルダス・ヴォス著

- 第10章 パウロにおける、千年至福説の問題

『聖書と未来』

アンソニー・A・フーケマ著

1. 開始された終末論

1. 旧約聖書の終末論的眺望
2. 新約聖書の終末論の性質
3. 歴史の意味
4. 神の国
5. 聖霊と終末論
6. すでに、いまだ...ないとの間の緊張

2. 未来終末論

7. 肉体の死
8. 不死性
9. 中間状態
10. 再臨の期待
11. 時のしるし
12. 特別のしるし
13. 再臨の性質
14. 主要な千年王国の見方★
15. ディスペンセーション主義的前千年王国説への批判★
16. 黙示録20章の千年王国★
17. からだの復活
18. 最後の審判
19. 永遠の刑罰
20. 新しい地

■ 終末論における最近の傾向

『現代教義学総説』

H.G.ペールマン著、蓮見和男訳

■ 第8章 最後の事物について

a. 前提

b. 現代の論争

1. 現在的終末論か、未来終末論か？
2. 歴史内在的終末論か、歴史超越論的終末論か？（神の国、新しい世界）
3. 靈魂の不死性か、肉体の復活か？
4. 死
5. 現代人と終末

c. 要約